

## 平成29年度第2回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

- 日 時： 平成29年6月21日（水） 10:00～11:48
- 場 所： 自然科学研究機構及び情報・システム研究機構合同会議室
- 出席者： 立本議長、荒木、稲賀、大塚、影山、木部、キャンベル、久留島、小長谷、小林、小松、佐藤（洋）、谷口、西尾、林部、平川、三田村、吉田（和）、吉田（憲）の各評議員
- 陪席者： 小泉監事、山本事務局長
- 事務局： 監査室長、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、本部事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同財務課課長補佐、その他関係職員

### ○ 概 要：

議事に先立ち、機構長から新たに就任した評議員及び事務職員の異動者の紹介があった。また、事務局から、定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認があった。

### 議 題：

#### （議事概要）

##### （1）平成28年度第4回議事概要について（資料1）

機構長から、平成28年度第4回教育研究評議会議事概要について、議事概要署名人に確認いただいた旨報告があり、本評議会の同意を得た。

また、機構長から、平成29年度から議事概要への署名を省略することとした旨、報告があった。

##### （2）平成29年度第1回書面審議の結果について（資料2）

機構長から、平成29年度第1回教育研究評議会書面審議の結果について報告があった。

#### （審議事項）

##### （1）平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について（資料3）

小長谷理事から、資料3に基づき、平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

また、本件に関し、以下の意見等があった。

- ・ 報告書は、全体的に下線部が多く、強調部分が薄らぐ。少し絞り込んだ上で、トピックとしての言葉に下線を引くと、その前後に注目するのではないか。
- ・ 報告書の書式上、事業毎に成果が記載され、他の事業との連携や相乗効果が分かりづらい。
- ・ 自己評価として「IV」を付けた理由として、数値目標の達成だけでなく、人文機構の研究・教育にどういった効果があったか、というエビデンスも必要ではないか。

##### （2）「人間文化研究機構における評価大綱」の改定について（資料4）

小長谷理事から、資料4に基づき、「人間文化研究機構における評価大綱」の改定について説明があり、審議の結果、了承された。

(3) 平成 30 年度概算要求について (資料 5)

平川理事から、資料 5 に基づき、平成 30 年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。

なお、本件に係る今後の取り扱いについては、機構長一任とすることが了承された。

また、本件に関し、以下の意見等があった。

- ・ 歴史文化資料の保全については、従前、各大学などで個別の取組として行われてきた。その必要性は理解されていたが、これまでは災害が発生した際に自然発生的に取り組まれてきたというのが現状である。そうした中、人文機構が取りまとめ役を果たし、ここまで来たことは素晴らしい。次は、どう資料を守るのか、次の世代にどう残していくか、災害復旧をどう行っていくか等、次の世代を見据えた対応を自然科学も踏まえた強みを持つ人文機構に期待する。
- ・ 地域に目を向けていくことは非常に良いことである。概算要求は、可能な限り、大きく要求して欲しい。
- ・ 東北大学や神戸大学という被災地を主とした研究は理解するが、今後起こりうる地震に対して、地震に関する文献の蓄積を続けてきた静岡大学等の動きも重要であり、既に大きなデータベースも作成されている。そういった機関との関係構造も築いていくことが望まれる。
- ・ 世界で起きた災害事例を、事業に取り込むことも検討して欲しい。

(報告事項)

(1) 第 2 期中期目標期間評価結果について (資料 6)

小長谷理事から、資料 6 に基づき、第 2 期中期目標期間における評価結果について報告があった。

(2) 人文系共共拠点等研究力強化ネットワーク (仮称) 設置準備会合について (資料 7)

小長谷理事から、資料 7 に基づき、人文系共共拠点等研究力強化ネットワーク (仮称) 設置準備会合について報告があった。

(3) 基幹研究プロジェクトの評価について (資料 8)

平川理事から、資料 8 に基づき、基幹研究プロジェクトの評価について報告があった。

また、立本機構長から、評価結果については委員長名の総評を公表する旨、併せて報告があった。

(4) 「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」基本計画について (資料 9)

平川理事から、資料 9 に基づき、「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」基本計画の概要について報告があった。

(5) 歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業について (資料 10)

平川理事から、資料 10 に基づき、歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業の概要について報告があった。

(6) ネットワーク型機関研究プロジェクト北東アジア基本計画の改定について (資料 11)

小長谷理事から、資料 11 に基づき、ネットワーク型機関研究プロジェクト北東アジア基本計画の改定について報告があった。

(7) 平成 28 年度総合情報発信センター評価報告書等について (資料 12)

佐藤理事から、資料 12 に基づき、平成 28 年度総合情報発信センター評価報告書、第 30 回人文機構シンポジウム及び総合情報発信センター研究員 (人文知コミュニケーター) の採用について報告があった。

(8) 韓国世宗研究所との交流協定締結について (資料 13)

小長谷理事から、資料 13 に基づき、韓国の世宗研究所との学術交流・協力に関する基本協定書を締結した旨、報告があった。

(9) 総合研究大学院大学の予算配分等について (資料 14)

小長谷理事から、資料 14 に基づき、総合研究大学院大学に係る平成 29 年度専攻運営費の予算配分及び平成 28 年度実施入学者選抜 志願・合格・入学状況について報告があった。

(10) 人間文化研究機構主要会議外部委員について (資料 15)

機構長から、資料 15 に基づき、平成 29 年度の教育研究評議会等主要会議の外部委員並びに次回の企画戦略会議を 7 月 10 日に開催する旨の報告があった。

(11) 平成 29 年度人間文化研究機構教育研究評議会開催日程について (資料 16)

機構長から、資料 16 に基づき、平成 29 年度人間文化研究機構教育研究評議会開催日程について報告があった。

以上